



オープンソースカンファレンス 2024 Hokkaido

HTML5 プロフェッショナル認定試験 レベル1 解説セミナー

～未経験から資格取得までの道と実務での活かし方～

2024年6月29日(土) @OSC 2024 Hokkaido

F() R K 株式会社フォーク
小倉 有貴



自己紹介



自己紹介

小倉 有貴

株式会社フォーク
フロントエンドエンジニア

2022

株式会社フォークに新卒で入社
HTML5 プロフェッショナル認定試験レベル1を取得

2023

レベル2を取得

2024

LinuC レベル1を取得



自己紹介

株式会社フォーク

@渋谷、札幌

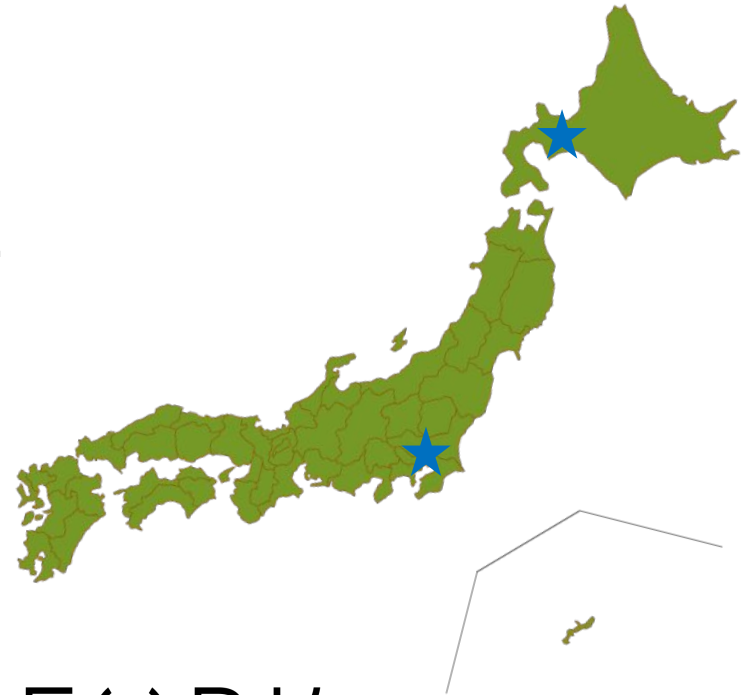
(HTML5プロフェッショナル アカデミック認定校)

HTML5プロフェッショナル認定試験の合格者

Lv1: **83**名

Lv2: **19**名

※2024年5月時点



F()R K

<https://www.fork.co.jp/>



本日解説する内容

- 試験概要
- 未経験から資格取得まで
- 実務での活かし方
- 最後に



試験概要



HTML5プロフェッショナル認定資格とは

**特定非営利活動法人エルピーアイジャパン(LPI-Japan)が、
HTML5、CSS3、JavaScriptなど
最新のマークアップに関する技術力と知識を、
公平かつ厳正に、中立的な立場で認定する認定制度**



2つのレベル

今回はこちら



HTML5 レベル1

HTML5、CSS3などの最新のマークアップを使ってマルチデバイスに対応したコンテンツをデザイン・制作できる

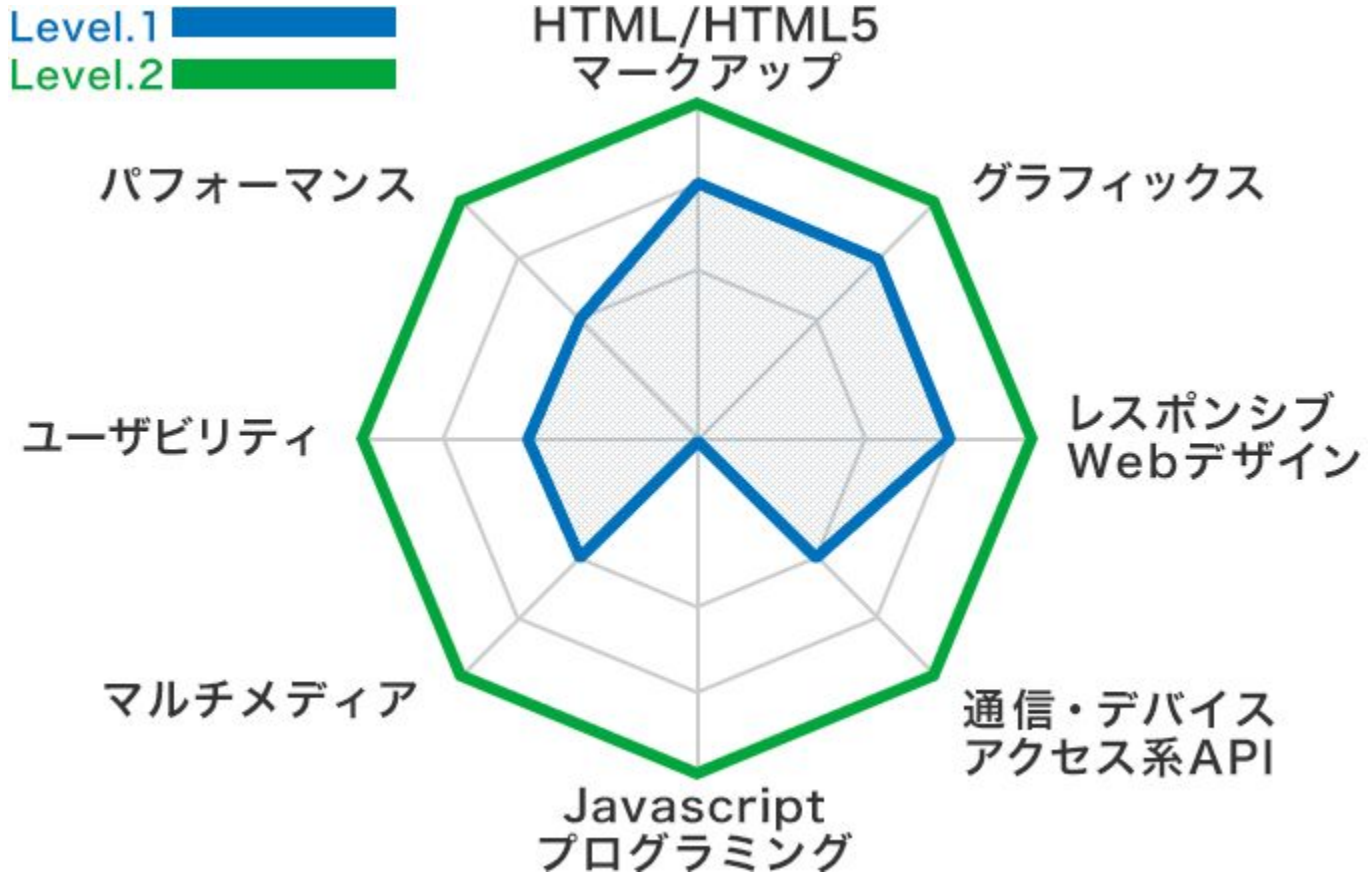


HTML5 レベル2

JavaScriptなどの最新のマークアップを使ってシステム間連携や最新のマルチメディア技術に対応した Webアプリケーションや動的Webコンテンツの開発・設計ができる。



2つのレベルと得られるスキル





スキル

HTML/HTML5

マークアップHTML5に関するタグの用途、構造の組み立て方に関する技術

グラフィックス

JavascriptやCSSなどを用いて、動的にグラフィックスを生成したりアニメーションを実現したりする技術

レスポンシブWebデザイン

一つのソースで、スマートフォンなどの様々なデバイスの画面サイズに対応させるための技術

通信・デバイスアクセス系API

JavaScriptからクラウドと通信をして情報の送受信を行ったり、センサーなどのデバイスにアクセスしたりする技術

マルチメディア

3D・動画・音声ファイルなどのマルチメディアコンテンツの表示・再生に関する技術

ユーザビリティ

JavascriptやCSSなどを用いて、デザイン仕様に沿った見やすい表示や操作しやすいコンテンツを作成するための技術

パフォーマンス

ストレージや並列処理を使ってコンテンツを効率よく高速に動作させたり、オフラインでも動作する仕組みを作るための技術

JavaScriptプログラミング **Level.2**

JavaScriptを使って、動的なWebコンテンツを作成する技術。



レベル1試験について

所要時間	90分(機密保持契約とアンケートの時間を含む)
試験問題数	約60問
受験料	¥ 16,500(税込)
試験実施方式	コンピュータベーステスト(CBT) ※マウスによる選択方式がほとんどですが、入力問題も多少出題されます。
受験場所	全国各地の試験センターでの受験か、自宅や職場からのオンライン受験が可能
合否結果	試験終了と同時
優位性の期限	5年間



試験のバージョン

最新のレベル1の試験のバージョンは Ver2.5です

Ver2.0 2017年4月1日～2022年7月31日

Ver2.5 2022年2月1日～

Ver2.0とVer2.5の違いについては公式サイトで案内されています

https://html5exam.jp/images/outline/html5_lv1_ver25.pdf



未経験から資格取得まで



未経験から資格取得まで

なぜ取得したか

弊社がLPI-Japan HTML5 のアカデミック認定校ということもあり
新人研修の一環で、HTML5 レベル1の試験を受験し合格することが
目標の1つであった。

学習期間

約3か月半。

入社1か月前の3月頃から本格的に勉強を始め、4～5月の社内研修や自習時間を利用して学習を進める。

☆公式による学習期間の目安は3か月～半年程度

- 自分のスキル感や学習に割ける時間量から受験日の目安を決めておき、
そこから逆算して勉強するとよい

「未経験」ってどのくらい ... ?

入社するまで、ウェブに関する前提知識はほぼゼロ。

ウェブサイトやウェブアプリケーションは、いちユーザーとして日常的に利用していたが、どのように作られているかなどは意識していなかった。

大学ではポルトガル語を専攻。ブラジルに留学するなど、ウェブとは無縁の学生生活を送っていた。



就職活動のとき ...

「自分の考えを具体的な形にして、ものづくりに携われる仕事をしたい」という思いからエンジニアを志望するように

→ ウェブサイトやウェブアプリケーションのユーザーが直接触れる部分を開発できるフロントエンドエンジニアに興味を持つ



フロントエンドエンジニア職として
株式会社フォークに入社。





未経験から資格取得まで

入社まで

教本をしっかりと読み始めたのは3月の初め頃。

見慣れない用語が並び、その都度サイトなどで調べて最低限の知識だけは身に着けるようにした。

入社後

4月～5月半ばまでの約1か月半の新卒研修

→ この期間にサイト制作などのアウトプットを通して、比較的しっかりとHTML / CSSの基礎を学ぶことができた。

研修に加えて、自習時間や土日を使って試験勉強。

☆導入には動画学習がおすすめ

[Udemy](#) など



未経験から資格取得まで～学習教材～

教本やオンライン学習ツール

公式サイトで紹介されている認定教材を使用するのがおすすめ

<https://html5exam.jp/measures/textbook.html>

▼ 実際に使用したもの

- [HTML5プロフェッショナル認定試験 レベル1 対策テキスト&問題集 Ver2.5対応版](#)
- [Ping-t WEB問題集](#)

調べものに利用したサイト

- [MDN Web Docs](#)
→ Web 開発者のための公式ドキュメント。ウェブに関するあらゆる技術を網羅。
- [「分かりそう」で「分からない」でも「分かった」気になれる IT用語辞典](#)
→ イラストや具体例を通して初心者でも理解しやすいやさしい解説が特徴。
用語について広く浅く理解したいときに便利。

未経験から資格取得まで～学習方法～

① とにかく問題を解いてみる

教本の練習問題や[公式サイト](#)のサンプル問題(難易度やや高め)、オンライン問題集などを使って問題数をこなす

→ 間違えたところや理解できなかったところは教本を読み込む
わからないところは先述したサイトで調べる

② 実際にコードを書いてみる

教本を読むだけでは理解できない部分は、コードを書いてアウトプットする

[CodePen](#)などのツールを使うとコードの実行結果を即座に確認できる

③ ①②をひたすら繰り返す



未経験から資格取得まで

入社から約2か月半後の6月中旬・・・

HTML5 プロフェッショナル認定試験レベル1に**合格**

現在・・・

フロントエンドエンジニア3年目となり、Web サイト制作に携わる。

レベル2やLinuxC レベル1の試験にも挑戦し、フロント領域以外の知識も持つ守備範囲の広いエンジニアを目指して奮闘中です。



実務での活かし方

コーディングは、考えるべきことがとても多い...





出題範囲

1.1 Webの基礎知識

1.2 CSS

1.3 要素

1.4 レスポンシブ Webデザイン

1.5 APIの基礎知識



セマンティックな HTML

Web ページも文書の一つであり、適切な文書構造を持つことが大切。

【対象】

本や資料など → 人

Web ページ → 人、**コンピュータ**

コンピュータが、Web ページに記述されている情報をよりの確に解釈できるように、様々な構成要素(テキスト、画像、リンク、フォーム etc.)を組み立てて作成する。

その構成要素のことをHTML では、**要素(Element)**と言う。

様々な要素をその意味や役割に基づいて使用することで、ウェブコンテンツの構造や内容を明確にできる(=セマンティックなHTML)。



セマンティックな HTML

header 要素: ヘッダー

nav 要素: ナビゲーション(navigation)

h1 ~ h6 要素: セクションの見出し(heading)

▼「HTML5プロフェッショナル認定試験」公式サイト(ヘッダー)

The image shows the header of the HTML5 Professional Certification website. It is annotated with HTML5 semantic elements:

- header**: A red box outlines the entire header area.
- h1**: A green box outlines the HTML5 Professional Certification logo.
- h2**: A green box outlines the text "HTML5プロフェッショナル認定試験".
- nav**: A blue box outlines the navigation bar, which includes links for "よくあるご質問", "EDUCO-IDをお持ちでない方", and "受験者マイページ", along with social media icons for Facebook, X, and B!.

Below the navigation bar, there is a row of icons and text: a lightbulb icon for "認定取得のメリット", a document icon for "試験概要", a book icon for "学習方法", a calendar icon for "受験申込", a building icon for "法人・教育機関", a question mark icon for "お問い合わせ", and a magnifying glass icon for search.



セマンティックな HTML

Web ページ全体が様々な要素の組み立てによって構成されている。

各要素の役割※を理解し、適材適所を意識してHTML を記述する。

※ 要素名の元となる英単語の意味から連想すると覚えやすい

■ 関連する出題範囲

- 1.1 Webの基礎知識
 - 1.1.2 HTMLの書式
- 1.3 要素

☆ ポイント

- 闇雲に要素を暗記するのではなく、実際に手を動かして文書を組み立ててみる
- 公開されているWeb サイトのHTML を見てみる
 - ブラウザ上で右クリックしてメニューを開き、「ページのソースを表示」 or 「検証」



レスポンシブウェブデザイン

「1つのHTMLで、デバイスの特性(主に画面横幅)に応じてレイアウトやデザインを変更する手法」

ー 普段気を付けていることー

- 画面幅を変化させたときに、表示が崩れないか(コンテンツが画面からはみ出る、コンテンツが詰まりすぎていないかなど)
- コンテンツの内容(テキスト量や要素の数など)を変化させたときに、不自然な見え方にならないか
- スマホ画面で見たときに、画像が粗くないか
- CSS の記述が最適化されているか(不要なプロパティがあるなど)

など...

- セレクタの指定方法
- プロパティの種類
- メディアクエリ※の種類

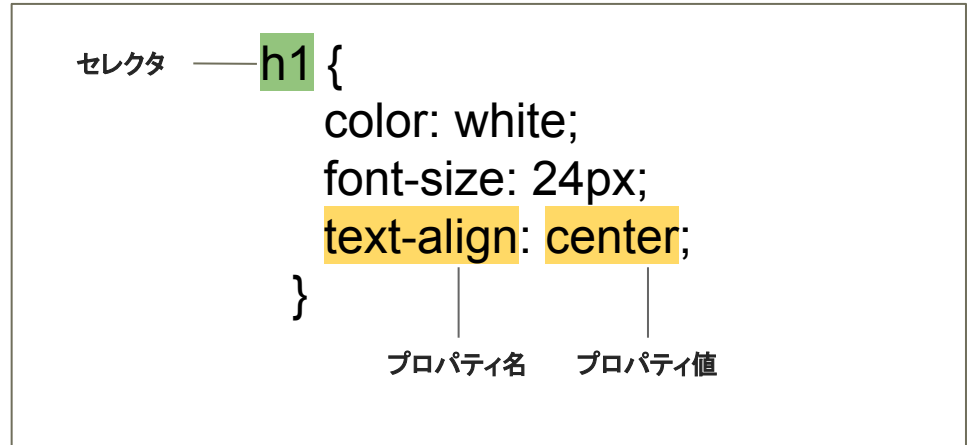
※特定の条件(メディアタイプや画面サイズなど)に基づいて異なるスタイルを適用するための機能

→ 出題範囲に指定されているものは頻出なため極力覚える

■ 関連する出題範囲

- 1.2 CSS
- 1.4 レスポンシブWebデザイン

▼ CSS の書式



▼ HTML

```
<div class="parent">
  <p>テキストが入ります。</p>
</div>
<div>
  <p>テキストが入ります。</p>
</div>
</div>
```

▼ CSS

```
.parent > p { ①
  font-weight: bold;
}
.parent p { ②
  font-weight: bold;
}
```

① テキストが入ります。

テキストが入ります。

② テキストが入ります。

テキストが入ります。

▼ 結合子とそれが示す適用対象

結合子	適用対象
セレクトA セレクトB	「セレクトA」の要素の内部に含まれている「セレクトB」の要素 ※ 結合子は空白文字
セレクトA > セレクトB	「セレクトA」の直接の子要素である「セレクトB」の要素
セレクトA + セレクトB	共通の親要素を持つ要素の中で「セレクトA」の直後にあらわれる 「セレクトB」の要素
セレクトA ~ セレクトB	共通の親要素を持つ要素の中で「セレクトA」よりも後にあらわれる 「セレクトB」の要素

出典: HTML5プロフェッショナル認定試験レベル1 対策テキスト&問題集 Ver2.0対応版(p. 153). 株式会社 マイナビ出版

その他にも、クラスセレクト、ID セレクト、疑似クラス、疑似要素 など

セレクトの指定方法はさまざま。

ふとした指定ミスでスタイルが期待通りに当たらず、ハマってしまうことも・・・



レスポンシブウェブデザイン

☆ ポイント

HTML 同様、実際に手を動かして基本的なスタイルを書いてみると◎

→ プロパティ値ごとの表示のされ方、セレクタの指定方法によってスタイルが適用される要素が異なることなどを確認できる

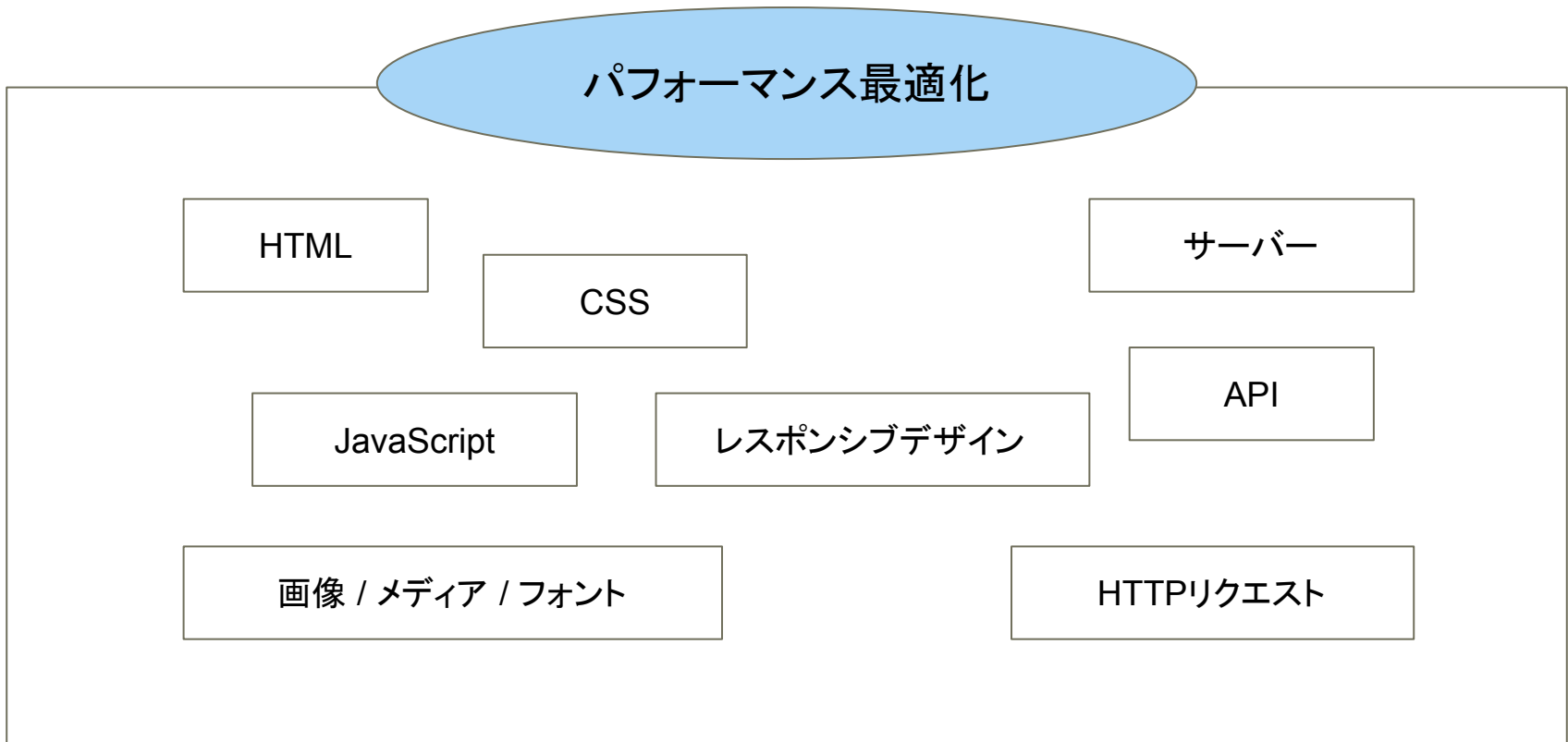
※CSS は日々進化しており、すべてのプロパティを覚えるのは不可能。

実務でも使い方が分からないものについては、[公式ドキュメント](#)で調べながら書くことが多いです・・・

様々な記述方法を試してみて引き出しを増やしていくことが大切

→ 柔軟にCSS を書くことができ、UI の幅が広がる

ユーザーにとって使いやすく満足度の高い Web サイト





パフォーマンス最適化

目に見える部分だけでなく、Web ページが表示される仕組みなどの目に見えない部分についても理解しておくことが大切。

■ 関連する出題範囲

- 1.1 Webの基礎知識
 - 1.1.1 HTTP, HTTPSプロトコル
 - 1.1.3 Web関連技術の概要
- 1.5 APIの基礎知識

☆ ポイント

- 聞き馴染みのない単語が多いが、おおまかなイメージをつかむことを意識
- ブラウザ検証ツールの「ネットワーク」から、通信のログを確認
→ ブラウザ上で右クリックしてメニューを開き、「検証」をクリック



最後に



資格取得の所感

Web コンテンツ制作に関わる知識の最も基礎的な部分が出題されるため、
全体を広く把握することができる

→ 初学者がWeb 制作について学ぶのに適している

覚えることも多く大変ではあるが、きちんと理解しながら進めると、実務の中のふとした瞬間に役立つ知識を身に着けられる

未経験から始めると、難しい言葉や分からないことばかりで、
つい勉強することを投げ出してしまいたくなります ...

- 昨日より1問多く解けた
- 学んだHTML / CSS を使ってコーディングできた など

小さな成功体験の積み重ね → モチベーションの維持

学んだことはいつかどこかで必ず生きるはずなので、
少しずつ頑張りましょう！





ご清聴ありがとうございます。



ご質問



公式アカウント、URL

HTML5プロフェッショナル認定試験のサイト

<http://www.html5exam.jp/>

Twitter

@html5Cert

Facebook

<https://www.facebook.com/html5exam>

過去のセミナーでの配布資料や、イベント情報などが配信されています。

LPI-JAPAN HTML5 Professional Certification

Open the Future with **HTML5**.